

# 平成 29 年度事業計画書

## 目 次

### 平成29年度事業計画書

○平成29年度基本方針	1
-------------	---

### ○平成29年度事業体系

#### 公益目的事業1

I 農地集積推進事業	2
------------	---

II 畜産・農用地等基盤整備事業	4
------------------	---

#### 公益目的事業2

III 農業後継者育成確保事業	6
-----------------	---

IV 農業農村活力支援事業	9
---------------	---

V とちぎ花センター管理運営等事業	12
-------------------	----

VI なかがわ水遊園管理運営等事業	14
-------------------	----

収益事業	17
------	----

# 平成29年度事業計画書

## ○ 平成29年度基本方針

平成29年度、当社は公益財団として事業の適正化、公益性を確保しつつ、本県農業の更なる発展と農村地域の振興を図るため、下記に掲げた「平成29年度事業体系」に基づき事業を展開していく。

農地中間管理事業においては、農業農村整備関連事業及び推進員との連携強化を図り、農地の集積・集約化を加速していく。

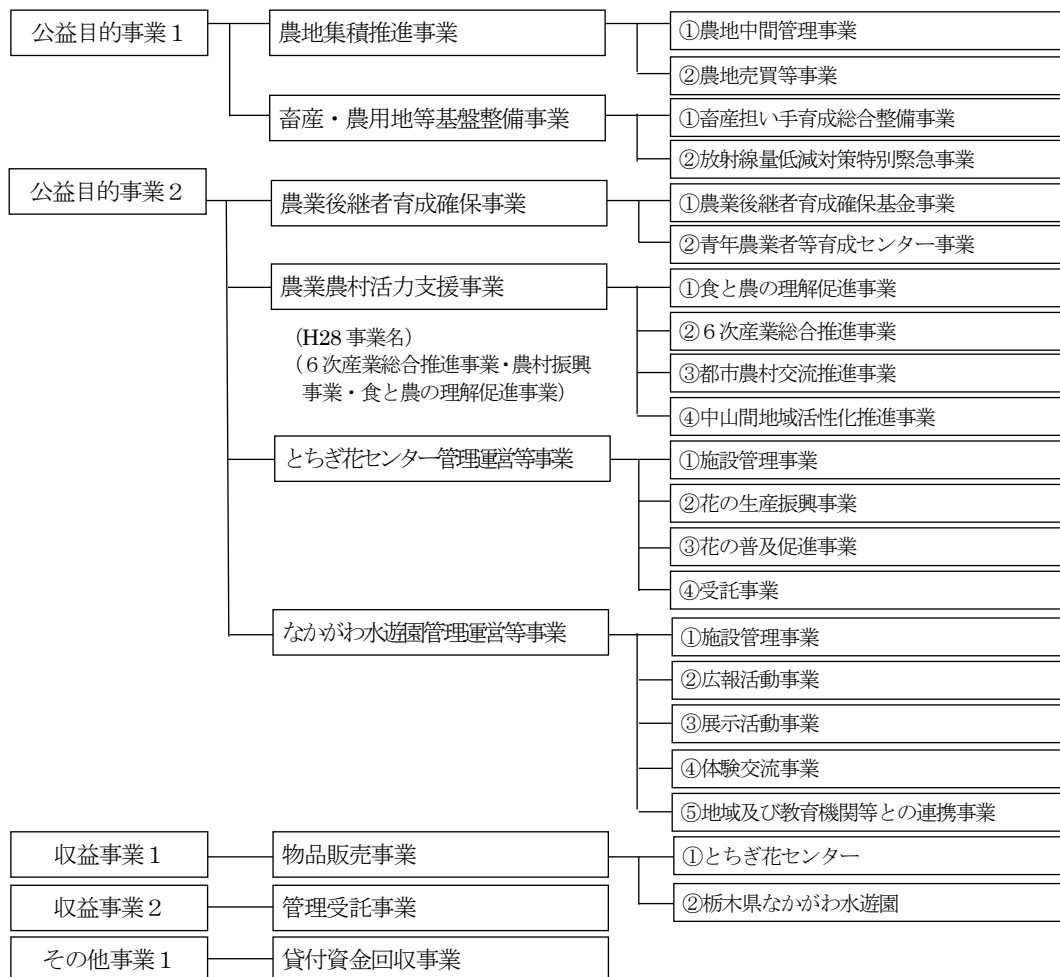
また、畜産業の更なる発展のため、畜産担い手総合整備事業を推進していく。

さらに、農業後継者育成確保事業や食と農の理解促進事業、6次産業総合推進事業などに積極的に取り組み、本県農業の担い手の育成確保と農業農村の活力向上を支援していく。

一方、指定管理施設である「とちぎ花センター」においては開園25周年を迎え、「栃木県なかがわ水遊園」においては入館者400万人を達成見込みであることから、記念イベント等による集客拡大に努めるとともに地域関係団体と連携しながら地域活性化の一翼を担っていく。

これらの事業の実施においては農業者をはじめ関係機関・団体等と協力を図りながら公社に蓄積したノウハウやネットワーク機能を活かし、円滑な事業運営に努め、目的の実現を図っていく。

## ○ 平成29年度事業体系



# I 農地集積推進事業(公1事業)

【予算額: 1,326,600千円】

農用地等の利用の効率化及び高度化を促進するため、県・市町・農業委員会・農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地中間管理事業及び農地売買等事業を実施する。

## 1 農地中間管理事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

農地中間管理機構として農地を借受け、担い手に集約して貸し付ける事業及び担い手に貸し付けるまでの間、農地として管理をする事業を実施し、担い手への農地集積・集約化を図る。

項目	事業内容												
1 農地の貸借	<p>目標面積</p> <p>借入(農地中間管理権設定) 5,000ha</p> <p>貸付(農用地利用配分計画) 5,000ha</p> <p>※H26~H28実績(見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入</td> <td>510ha</td> <td>1,466ha</td> <td>1,100ha</td> </tr> <tr> <td>貸付</td> <td>399ha</td> <td>1,274ha</td> <td>1,099ha</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	借入	510ha	1,466ha	1,100ha	貸付	399ha	1,274ha	1,099ha
	H26	H27	H28										
借入	510ha	1,466ha	1,100ha										
貸付	399ha	1,274ha	1,099ha										
2 事業の推進	<p>① 人・農地プランの重点支援地域における地域ぐるみでの機構事業活用の推進を図る。</p> <p>※H27: 23地域→H28: 31地域→H29: 40地域</p> <p>② 農業農村整備事業との連携強化を図り、機構事業活用の推進を図る。</p> <p>※H27: 5地域→H28: 5地域→H29: 10地域</p>												
3 推進体制の強化	<p>① 各市町・各市町農地利用集積円滑化団体・各農業組合等と業務委託を締結し、市町等関係機関との連携を図る。</p> <p>※25市町 業務委託先 50機関 窓口設置 60機関</p> <p>② 業務委託先の市町等へ「機構集積協力員」を設置し事業の推進を図る。</p> <p>※H26: 3市町→H27: 10市町→H28: 14市町→H29: 20市町</p> <p>③ 県内市町の農地利用最適化推進委員と機構との円滑な連携活動を確立し、機構事業の推進を図る。</p>												
4 事業の啓発・普及	<p>① 重点推進月間(5月・8月・11月)を設置し、農業者等への啓発・普及を図る。</p> <p>② 新聞広告、リーフレット等の広報活動により、農業者等への周知、理解促進を図る。</p> <p>③ 先進事例集を作成し、取組拡大を図る。</p> <p>④ 企業の新規参入等新たな担い手への支援を図る。</p> <p>⑤ 農地集積の円滑な推進のため、農用地利用集積連携会議や研修会等を実施し、関係機関団体との情報の共有化等を進める。</p>												

2 農地売買等事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

規模縮小を志向する農家から農用地を買入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売渡す事業を実施し、農用地の利用集積を支援する。

事業名		件数	面積 (ha)	金額 (千円)
1 買 入	農地売買等支援事業	180	90.0	495,000
	公社営農地売買支援事業	40	20.0	110,000
	計	220	110.0	605,000
2 売 渡	農地売買等支援事業	219	112.7	631,801
	公社営農地売買支援事業	53	23.9	130,542
	計	272	136.6	762,343

## II 畜産・農用地等基盤整備事業（公1事業）

【予算額：676,089千円】

生産性の高い農業経営の確立を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、畜産生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施する。

### 【総括表】

(単位：千円、%)

No	事業名	地区名	事業期間	全体事業費	～H28	進捗率	H29	H30～
1	畜産担い 手育成総 合整備事 業	日光高原	H25～H29	849,313	767,524	90.4	81,789	
		栃木塩那	H27～H30	968,100	144,761	15.0	333,538	489,801
		大田原・那須	H28～H32	810,000	7,730	1.0	176,000	626,270
		那須塩原	H29～H33	2,100,000			20,000	2,080,000
		小計		4,727,413	920,015	19.5	611,327	3,196,071
2	放射線量 低減対策 特別緊急 事業	那須塩原市	H26～H29	16,027	14,827	—	1,200	
		矢板市	H26, H29	724	324	—	400	
		栃酪	H26～H29	7,132	5,832	—	1,300	
		小計		23,883	20,983	—	2,900	
合計					H29 事業費 614,227			

### 1 畜産担い手育成総合整備事業（公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業）

畜産の産地として今後安定的な発展が期待される地域において、生産性の高い経営体の育成とこれを核とした畜産主産地の再編整備を進め、畜産の安定的な発展を図るため、草地・畜舎・家畜排泄物処理施設等の整備事業を実施する。

No	地区名	予算区分	施工箇所	事業参加者	事業費(千円)	主な事業内容
1	日光高原 (H25～H29)	H28 繰越	日光市 鹿沼市	2名	27,789	道路舗装 130m 場内整備 1式
		H29	日光市	1名	54,000	草地整備 30.00ha
2	栃木塩那 (H27～H30)	H28 繰越	那須烏山市 那珂川町	2名	33,538	堆肥舎の整備 1棟 牧柵の整備 739m
		H29	那須烏山市 高根沢町	3名	300,000	草地造成・整備 10.10ha 牛舎の整備 2棟
3	大田原・那須 (H28～H32)	H29	大田原市 那須町	5名	176,000	草地造成・整備 14.30ha 牛舎、飼料貯蔵庫の整備 2棟
4	那須塩原 (H29～H33)	H29	那須塩原市	5名	20,000	測量試験費
合計				18名	611,327	

2 放射線量低減対策特別緊急事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策及び指定廃棄物一時保管の設計・監理業務を受託し、放射線量の低減及び適切な保全を図る。

区 分 (対 象)	施工箇所	事業費 (千円)	事業量	主な事業内容
環境省事業 (牧草等放射性指定廃棄物)	那須塩原市	1,200	3箇所	指定廃棄物の一時保管場所改修工事 の設計・施工監理
	矢板市	400	1箇所	
農水省事業 (県内公共牧場)	日光市	1,300	5.00ha	永年牧草地の反転耕・深耕等による 吸収抑制対策工事の設計・施工監理
合計		2,900		

### Ⅲ 農業後継者育成確保事業（公2事業）

【予算額：176,567千円】

次代を担う優れた青年農業者等の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもと、農業後継者育成確保基金事業並びに青年農業者等育成センター事業を実施する。

#### 1 農業後継者育成確保基金事業（公2・1 自主事業）

青少年の就農促進と青年農業者の育成を図るため、県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益と一部基金の取り崩しにより、次の事業を実施する。

##### (1) 国際化対応サポート事業

国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、就農希望の青少年（高校生）や青年農業者に対する海外派遣、長期研修を支援するとともに海外短期研修事業を実施する。

事業名	事業内容
1 農業学生海外研修支援事業	国際化に対応可能な青年農業者を確保するため、農業高校生の海外研修事業を支援する。 [目標：5人]
2 海外長期研修支援事業	農業先進国で優れた技術等を習得するため、概ね1年以上の農業研修を行う青年を支援する。 [目標：2人]
3 海外短期派遣研修事業	新たな時代の国際化ニーズに対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、農産物輸出の状況、流通、マーケティング、店頭販売体験等の研修内容により実施する。 [目標：アジア派遣研修]

##### (2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識・技術の向上を図るための研究及びプロジェクト活動を支援する。

事業名	事業内容
経営発展活動支援事業	青年農業者又は青年農業者組織が行う技術開発等の課題解決のための調査・研究活動を支援する。 [目標：5件]

##### (3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的に取り組んでいる組織活動を支援する。

事業名	事業内容
1 組織活動支援事業	青年農業者自らが組織し、積極的な活動を行っている組織を支援する。 [目標：県4HC協議会]



2 青年農業者地域貢献支援事業	青年農業者の組織が行う、地域に対する奉仕活動や活性化活動、子供たちへの農業の理解促進活動を支援する。 [目標：10市町4HC協議会]
3 全国技術交流派遣支援事業	全国組織等が行う研修会へ青年農業者を派遣し、県外青年農業者との交流を行い、技術の向上及び経営者としての資質の向上を図る。 [目標：全国等参加20人]

(4)いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、消費者との交流を通して、農業・農村の理解促進を図るための活動を支援する。

事業名	事業内容
青年農業者と消費者の交流促進支援事業	県内の青年農業者が一堂に会し、消費者に対し農業・農村の素晴らしさ等の情報を発信する活動を支援する。 [目標：来場者数5,000人]

2 青年農業者等育成センター事業 (公2・1 自主事業)

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者に対し、就農促進啓発、就農相談活動並びに就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、情報提供を行うとともに、就農を目指す青年が研修を受ける期間(2年間)における就農給付金を助成する。

(1)就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談活動等を実施するとともに、就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、情報提供等、就農促進を図る事業を展開する。

事業名	事業内容
1 就農促進啓発事業	新規就農希望者に対する就農促進啓発を行うとともに就農相談活動、新規参入フォーラム、現地セミナー等を実施する。 [目標：相談件数350件] [目標：相談会実施数12回] [目標：新規参入フォーラム参加80人] [目標：現地セミナー参加20人]
2 就農サポート事業	就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、並びに情報提供を行う。 [目標：就農情報数50件]

(2)農業次世代人材投資事業(準備型)

次世代を担う農業者を確保・育成するため、就農に向けて県農業大学校などの教育機関や先進農家等において研修を受ける者に対して研修期間の生活安定に資する資金を交付する。

事業名	事業内容
-----	------

農業次世代人材投資事業（準備型）	就農前の研修期間（２年以内）に生活安定に資する資金（年間１５０万円）を交付し、円滑な就農を促進する。なお、国内での２年の研修に加えて海外研修を行う場合に交付期間を１年延長できる。 [目標：交付対象者数 100 人（新規 80 人、継続 20 人）]
------------------	---

(3)とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業

本県の新たないちご生産者を確保するため、いちごに関する幅広い情報発信等を通して、県内・外からいちご就農希望者の受入体制の強化を支援する。

事業名	事業内容
とちぎでいちごを始めようキャンペーン事業	全国に向けた広告、ホームページ等による募集案内や、東京での就農相談会における特設ブースの設置等により、広く就農希望者を募る。 [目標：相談会実施数 2 回]

(4)雇用就農者確保育成事業

新たに県内の農業法人等への雇用就農を希望する者が、本県で円滑かつ確実に就業して、定着できるよう、県内・外から幅広く就業希望者を呼び込むとともに、雇用就農に向けた啓発や相談活動・法人現地見学会・情報発信等を通して雇用就農体制強化を支援する。

事業名	事業内容
雇用就農者確保育成事業	全国に向けた広告、ホームページ等による募集案内や、首都圏での雇用就農相談会における特設ブースの設置及び、法人現地見学会等により、広く雇用就農希望者を募り、関係機関・団体と連携して雇用就農を促す。 [目標：求人ブース出展数 8 社]

#### IV 農業農村活力支援事業（公2事業）

【予算額：42,181千円】

人が生きる上で最も重要な「食」と、これを支える「農業・農村」の大切さを一人でも多くの県民に理解してもらうとともに、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業化や都市と農村の交流、中山間地域における農地保全活動など、農業農村の活力向上を支援する。

##### 1 食と農の理解促進事業

生命を維持し、健康であり続けるために必要な「食」と、これを支える「農業・農村」の大切さをより多くの県民に伝えるために以下の取組を行う。

##### (1)とちぎアグリプラザ管理運営事業（公2・1 自主事業）

県民の食料・農業・農村に対する理解を深め、これらの振興を図るため、その拠点となるとちぎアグリプラザを適切に管理・運営するとともに、県民に食と農の理解促進を図る。

事業内容	
1	施設の管理運営（地上3階、延床面積1,804.72㎡）
2	食と農に関する相談・情報提供

##### (2)食と農の理解促進プロモーション事業（公2・2 自主事業）

県民に食と農の理解を広げるための実践プログラム「つなごう！食と農の実践講座」を開催し、講座で得た知識や情報を地域との交流を通じて伝える「食と農の伝道者」の育成を図る。

また、食・農業・農村の理解と関心を深めるための各種コンクールを開催する。

更に、食と農の理解促進のための各種情報の収集・提供、PR活動を実施する。

項目	事業内容
1 「つなごう！食と農実践講座」の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食と農の伝道者」としての人材を育成する大人向け講座 [5回]</li> <li>・「ジュニア食と農の伝道者」を養成する親子向け講座 [3回]</li> </ul>
2 「児童画コンクール」「写真コンテスト」の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童画コンクール（小学生対象）</li> <li>・写真コンテスト（中高生対象）</li> </ul>
3 情報の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「とちぎ発食と農（仮）」の発行 [2回]</li> <li>・とちぎ食と農ふれあいフェア等でのPR活動 [5回]</li> </ul>

##### (3)とちぎ食育応援団活用促進事業（公2・2 受託事業）

食育を継続的に推進するため、未就学児とその保護者を対象とした「とちぎっ子食育出前講座」等へ食育応援団員を派遣するほか、団員の資質向上を目的とした研修会の開催や情報発信を行う。

項 目	事 業 内 容
1 とちぎっ子食育出前講座等への食育 応援団の派遣	・保育所・幼稚園等への応援団員の派遣 [目標：30回]
2 活動力アップ研修会の開催	・食育活動のための資質向上研修会の開催 [1回]
3 活動PR情報誌の作成・配布	・幼稚園・保育園、応援団員、関係機関等への情報提供 [2回]
4 食育応援団員の募集・登録・名簿作 成	・募集、登録事務及び登録証の作成等 [目標：450名] (※平成28年12月末現在 442名登録)

## 2 6次産業総合推進事業

農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化や異業種との連携による6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出を促し、農業・農村の活力向上を図る取組を支援する。

### (1) 6次産業化サポートセンター運営事業 (公2・2 受託事業)

農業の6次産業化を促進するため6次産業化サポートセンターとして、農業者等に対して実践アドバイザー等を派遣し、総合的なサポートを行うとともに、研修会等を開催する。

項 目	事 業 内 容
1 6次産業化への取組支援	<p>6次産業化を推進するため、農業者等からの相談窓口を設置するとともに、推進会議の開催や情報の発信を行う。</p> <p>また、6次産業化実践アドバイザーを派遣し、農業者等が行う生産から商品開発、事業化までを支援するとともに、総合化事業計画認定者のフォローアップを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンター窓口での相談件数 [目標：120件]</li> <li>・アドバイザー派遣 [目標：延べ100回]</li> <li>・総合化事業計画認定目標件数 [目標：5件]</li> </ul> <p>(※平成29年2月末現在の認定数：42件)</p>
2 6次産業化を実践する人材育成	<p>新たな農業を創造できる優れた経営感覚の農業者等を育成するため、インターンシップを含めた「6次産業化実践塾」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集人員20名 [7回]</li> </ul>

### 3 都市農村交流推進事業

グリーン・ツーリズムによる都市と農村地域の交流を促進し、更なる地域活性化を図るため、農産物直売所等の都市農村交流施設が、一層地域の拠点施設としての役割を果たせるよう以下の取組を実施する。

#### (1)都市農村交流施設活性化推進事業 (公2・1 自主事業)

項 目	事 業 内 容
1 都市農村交流施設状況調査・分析	県内の都市農村交流施設状況を調査・集計し、その結果を取りまとめ、問題点や課題を整理分析する。
2 都市農村交流施設活性化推進員による支援活動	① 都市農村交流施設活性化推進員の設置 ② 推進員による都市農村交流施設の課題等に対する指導・助言及び専門家の派遣 ③ 都市農村交流施設活性化に関する情報提供

### 4 中山間地域活性化推進事業

中山間地域の多面的機能の保全を目的に、地域住民と都市住民等の協働によるボランティア活動を展開するとともに、若い世代に対し農地保全活動等を通じた自然豊かな農村の理解の促進を進める。

#### (1)とちぎ夢大地応援団推進事業 (公2・2 受託事業)

項 目	事 業 内 容
1 広報活動の実施	夢大地応援団ボランティア活動の情報収集と発信 ・情報誌発行 [2回] ・若い応援団員募集資料作成 [1回]
2 ボランティア活動実施支援	ボランティア活動を実施する地域の活動支援を行う。 ・推進地区 [2地区] ・継続地区 [8地区]
3 カレッジ活動の開催	若い世代を対象にした夢大地応援団カレッジ活動を開催する。 [年3回]
4 地域と都市住民を結ぶメールマガジンの作成・発信	夢大地応援団ボランティア活動の募集や結果報告等の情報をメールマガで発信し、地域と都市住民の理解促進を図る。

## V とちぎ花センター管理運営等事業（公2事業）

【予算額：153,636千円】

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が設置した「とちぎ花センター」の管理運營業務を実施する。

また、県産の花の情報発信と産地や生産者のPR、園芸知識や花の普及、消費拡大を図るとともに、近隣施設と連携しながら地域活性化の拠点施設としての一翼を担う事業を展開する。

さらに、10月に開園25周年を迎えるので、記念イベントを開催する。

### 1 施設管理事業（公2・3 指定管理事業）

(1)管理建物 鑑賞大温室・展示温室他15棟 6,392 m<sup>2</sup>

(2)敷地 花壇等 3.1ha

項目	平成29年度
入園者数	目標人数 320,000人（鑑賞大温室有料入館者数 22,000人）

### 2 花の生産振興事業（公2・3 指定管理事業）

展示温室で、県産花きを用いた飾花を提案し、家庭でできる花の利用を促進する。

また、本県で開発された「るりおとめ」や「きらきら星」の展示、生産者組織と連携した企画展示、消費者と生産者の交流イベントなどの開催、県産花きの情報発信や秀品展示・販売などの事業を進める。

### 3 花の普及促進事業（公2・3 指定管理事業）

県産花きの普及と来園者に植物をとおした「癒し」を提供するため企画展やイベントを開催する。

また、花の持つ多様な機能をいかし、植物を通じた体験型教育である花育活動や、高齢者や障害者の方が楽しめる園芸福祉活動に取り組む。

項目	事業内容
1 企画展の開催	鑑賞大温室第1企画展示室において次のとおり開催する。 ①あじさい展（H29.5.9～6.4） ②パイナップルの仲間たち展（H29.6.6～7.17） ③不思議な植物展（H29.7.19～10.1） ④東南アジアの植物展（H29.10.3～11.19） ⑤冬の鉢花展（H29.11.21～12.24） ⑥早春の花展（H30.1.2～2.4） ⑦春のフラワーアレンジ展（H30.2.17～2.25） ⑧洋ラン展（H30.2.27～4.22）
2 花壇の植栽	大花壇は、年間3回のデザイン植栽を行う。また、少量多品種のバラ園を充実させるとともに、フラワータワーや中小花壇に季節の花を植栽する。

3 体験教室の開催	寄せ植えづくりや家庭の日の親子体験教室など、子供から大人まで楽しめる体験型の教室を開催する。また、バラの管理やガーデニング講座など6コースからなる「とちはなカレッジ」を開催し、花きの普及につとめる。
4 花育の取組	生産温室を活用して、植物の植え付けから収穫まで体験する花育講座を開催する。また、栃木市・佐野市の小学生を鑑賞大温室に招待し、植物に親しむきっかけをつくる。
5 イベントの開催	<p>季節に合わせて、各種イベントを開催する。</p> <p>①春のフラワーフェスティバル (5月)</p> <p>②ローズフェスタ (5月～6月)</p> <p>③ほたる祭り (6月)</p> <p>④サマーイベント(仮称) (8月)</p> <p>⑤秋のフラワーフェスティバル (10月)</p> <p>⑥クリスマスファンタジー (12月)</p> <p>⑦スプリングカーニバル (3月)</p>
6 園芸福祉活動の取組	75歳以上の方を、鑑賞大温室に無料ご招待し、植物による癒しを提供する。また、障害者用のコンテナガーデンへの植栽など、高齢者や障害者の方々に植物と接する機会を提供する。

#### 4 受託事業 (公2・3 指定管理事業)

花の普及を図るため、平成29年度国産花きイノベーション推進事業(国庫事業)を実施する。

## VI なかがわ水遊園管理運営等事業（公2事業）

【予算額：417,040円】

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」の管理運営業務を実施する。

また、春に入館者400万人を達成する見込みであることから、記念事業を計画する他、那珂川の豊かな自然や生物、産業や文化など多彩な地域資源を活用し、地元自治体や地域住民と連携し自然体験活動や河川清掃など地域活性化につなげる包括的な取組「プロジェクト那珂川」を実施する他、やすらぎと憩いを提供するため新たな植栽や、独創的な体験講座、イベント等を開催することで利用者のサービス向上に努める。

### 1 施設管理事業（公2・3 指定管理事業）

(1) 管理建物 おもしろ魚館（展示ゾーン及び体験交流ゾーン） 約6,000㎡

(2) 公園施設 芝生広場・お魚ふれあいステーション・水の広場・公園サービスステーション  
約250,000㎡

項目	平成29年度
おもしろ魚館入館者数	目標入館者数 270,000人（有料入館者数 185,270人）

### 2 広報活動事業（公2・3 指定管理事業）

水遊園の展示や体験講座、イベント情報を各メディア・行政・教育機関等に配信するほか、集客施設などでPR活動を積極的に展開し、水遊園への集客につなげる。併せて、来園者が周辺地域を周遊するよう地域情報の発信を行うことで地域活性化に貢献する。

### 3 展示活動事業（公2・3 指定管理事業）

展示テーマである「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」をさらに発展させ、栃木県を代表する清流「那珂川」と世界を代表する「アマゾン川」の二つの川に注目した他に類のない唯一の展示を目指す。また、生物と水辺環境についてより理解と興味が深まるようこれまでの生物展示を継続しつつ、両生類・爬虫類・ほ乳類等の魚類以外の水生生物等、多様な視点とニーズに対応できる展示を実施する。

項目	事業内容
1 常設展示	那珂川水系の魚や水産試験場の研究成果など地域の水生生物への理解と関心を深める展示と、アマゾン、グレートバリアリーフの魚など生物多様性のすばらしさを表現する展示などあわせて約300種2万点の展示生物を飼育管理する。
2 企画展	春：突撃！！となりの外来種 H29.3.7～5.7 夏：新金魚展（仮称） H29.7.11～9.3 冬：ライトアクアリオ・ステンドグラス（仮称） H29.11.21～H30.1.21 春：危険！危険！超危険な猛毒生物展（仮称） H30.3.6～5.6



3 解説プログラム	スポットガイド：解説しながらアマゾンの魚たちへ給餌するプログラム バックヤードツアー：水族館の裏側をガイドするプログラム
4 イベント	春・初夏・夏・秋・冬・初春の6シーズン毎に季節感のある各種イベントを開催する。来園者サービスの一環として夜8時までの開園時間を延長しナイトビューを秋・冬の2回開催する。

#### 4 体験交流事業 (公2・3 指定管理事業)

農村の文化や様々な地域資源などについて楽しみながら学ぶことができる各種体験講座を開催する。水族館と融合した体験講座や都市と農村の交流を促進する企画など「見て、触れて、食べて、感じて」を実現できるユニークな体験型施設を目指す。

項目	事業内容
1 おさかな研究室	魚の観察や解剖、標本づくり、水生昆虫採集など魚や水生生物等の観察実験講座
2 味わい工房	田舎まんじゅう、ソーセージ、ピザ、地粉パンなど地域の農産物を活用した調理加工講座
3 創作工房	竹細工、木工細工、和紙細工、まゆクラフトなど地域の伝統工芸等講座
4 釣り池	マス釣り(12~5月)及び五目釣り(通年)、ザリガニ釣り(夏季)を常駐インストラクターの指導で初心者でも安心して楽しめる釣り体験
5 その他の事業	農業体験、マス・アユのつかみどり体験、魚の3枚おろし体験など

#### 5 地域及び教育機関等との連携事業 (公2・3 指定管理事業)

なかがわ水遊園が那珂川沿川地域活性化の拠点施設としての一翼を担うため、地元自治体・関連施設、地域住民等と連携し、地場産業・観光の振興等地域発展を図り、地域資源の積極的な紹介や集客のための企画を通し、地域活性化につなげていく。

また、学校授業のサポートや職場体験など教育機関との連携事業にも積極的に取り組む。

項目	事業内容
1 400万人記念事業	入館者400万人達成を記念して、達成日をあてるキャンペーン及びセレモニーを開催する。
2 那珂川大感謝祭	H29.9.10開催。地域の商工観光団体や那珂川あゆ街道など食の街道関連団体の出店や水産試験場の公開講座など周辺施設の紹介を行う。

3 那珂川さくらまつり	那珂川の桜並木を活用した交流促進イベントとして、地域住民等とともに自然に親しむイベントを開催する。
4 鮎まつり	全国的にも有名な那珂川の鮎釣り解禁を前に、鮎に関するイベントや講演会を開催する。
5 なかがわ里山ポタリング	自転車を通じて那珂川流域の魅力を地域自治体及び住民とともに発信する企画として「第4回なかがわ里山ポタリング」を開催する。
6 プロジェクト那珂川	那珂川での自然体験活動や清掃活動などを関連団体とともに開催する。
7 出張授業	地元の小学校等へゲストティーチャーとして赴き、ミヤコタナゴやイトヨなど地域にすむ水生生物に関する授業を行う。
8 新商品開発事業	那珂川のアユなど地域の食材のほか、オリジナリティのあるアマゾン食材を活用した新商品を開発する。
9 調査研究活動	ミヤコタナゴ再導入、イトヨ生息調査等を地域団体等とともに行う。

## 収益事業

### 1. 物品販売事業（収1事業）

とちぎ花センター及びなかがわ水遊園で、関連商品や飲食物の販売（なかがわ水遊園において「味処ゆづかみ」における運営を開始）を行い、来園者に対しサービスの提供に努める。

### 2. 管理受託事業（収2事業）

公社で整備したふん尿処理施設等について、施設の長寿命化を図るための機能診断及び保全計画策定業務を受託し、施設の適正な管理・運営に資する。

## その他事業

### 1. 貸付資金回収事業（他1事業）

「青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法」（平成26年4月1日廃止）に基づき、認定就農者に対して貸付けた資金の回収業務を実施する。